

「農業」と「福祉」が繋がって宮崎を元気に



農福連携

農福連携 とは？

農福連携とは、障がい者等が農作物の生産活動等に従事することを通して、農業分野、福祉分野が抱える様々な課題を解決するものです。農業側にとっては、労働力の確保や耕作放棄地の活用等、福祉側にとっては、障がい者の働く場の確保や賃金（工賃）の向上、心身の機能回復等を目指すものであり、農業と福祉双方にメリットのあるものとして、全国でも取組が広がりつつあります。宮崎県においても、農業者と福祉事業所とのマッチングや研修会等を通して、農福連携を推進しています。

「みやざき援農」
ホームページに
農福連携の情報
を新たに追加し
ました。



裏面に取組事例を一部ご紹介！



みやざき 援農



「農福連携」
をチェック！



みやざき援農

<http://www.ennou-miyazaki.com/>

Part1

取組事例レポート

農業生産法人 株式会社CoCoRoファーム様 (宮崎県西都市)

利用者さんが本気で頑張れる場所を 2100坪の本格農業へチャレンジ!

福祉事業所が農業法人を立ち上げ、 大規模な農場をスタートした理由は?

最初は農作業の割合は少しかったです。その頃、農家の佐々木さんから栽培指導を受け、農業と福祉の連携をするにはどうしたらいいのかなど、それぞれの立場で熱く議論を交わすことが増えました。2~3年経った時、本気で農業をやってみようという決心で約2100坪の土地を借りて農業法人を設立しました。障がい者施設でいきなりこの規模は無茶な挑戦でしたが、みんなに給料を払っていききたいから、どんなに大変でもこの栽培面積が必要だと考えたんです。

私は農業は素人ですが、農場の管理者で入ってもらった佐々木さんに助けられています。

利用者さんの働きぶりはいかがですか。

1年目は作業をさせられている状態でしたが、今は自らやる作業に代わってきました。作物への愛情もすごくて、虫がついたり元気がなくなってきたら、すぐ報告してきます。なんでも相談してくるし、こちらからのお願いも進んでしてくれます。他の事業所の方からも、スタッフと利用者さんとの垣根がないですねってよく言われますね。

気をつけていることは、必ずその人を見て、やりたくないことはやらせない、やりたいと思うことを伸ばしてあげることが大事だと思います。引きこもっていた子がしっかり仕事をしていて保護者の方からも不思議がられます。責任のある仕事を任せることで自信が生まれ、将来の夢が持てるようになったと言ってくれます。いい部分を伸ばしてあげることが私たちの役目ですね。



農業生産法人
株式会社CoCoRoファーム
就労継続支援A型
CoCoRo事業所
代表 堀川佳恵さん



農業生産法人
株式会社CoCoRoファーム
管理者 佐々木 幸一さん



Part2

有限会社新福青果様 (宮崎県都城市)

作業に「ゆるさ」を持たせることが大事 環境整備で選ばれる農業法人に

農福連携はいつから取り組まれましたか。

15年くらい前から農福連携には取り組んでいました。やはり人手が足りないというのが大きな理由です。最初は福祉事業所に農作物を運んで作業をしてもらう形でしたが、今は、こちらに出勤する事業者さんが2社、持ちかえる事業者さんが4社くらいですね。ここで作業をしてもらうほうが目が行き届くのでスムーズだったりします。繁忙期は8社から10社に増え、1日に携わる人数も200人を超える時もあります。私たちの会社にとって欠かせない存在となっていますね。

福祉事業所との連携で

大事なことはなんですか。

半年ごとの作業スケジュールを福祉事業所さんに伝えるようにしています。事前に把握できることで、福祉事業所さんも予定が組みやすいと言ってくれます。また、賃金についても定期的に見直し、出来るだけ要望に応えるようにしています。密にコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことが大事ですね。



有限会社新福青果
代表取締役社長
新福 朗さん

福祉事業者さんに聞きました

「こうした方が売れるよ」 利用者さん同士で考えて 作業をしてくれています。



特定非営利活動法人
三股福祉作業所 そら

職業指導員
有馬 勇一さん

新福青果さんの仕事はどんな内容ですか?

芋を新福青果さんから持ち帰り、洗って袋詰めにする作業をしています。利用者さんに実際の売り場の写真を見せたことでモチベーションが上がり「こうしたほうが売れるよ」とお互い声をかけながら楽しんで作業をしてくれています。また、新福青果からシルクスイートという美味しいサツマイモを買い取って焼き芋にし、地元の道の駅などで販売もしています。イベントでも完売で、大変人気が高いんですよ。

インタビューの続きはホームページで!

みやざき援農

<http://www.ennou-miyazaki.com/>

農福連携についてのお問合せは

農政水産部

農業経営支援課 農業担い手対策室
TEL 0985-26-7124

福祉保健部

障がい福祉課 就労支援担当
TEL 0985-32-4471